

東備バス安全マネジメント

平成 29 年 1 月

両備グループ安全宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は「運輸安全マネジメント」に基づき、「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張る事を宣言します。

両備グループ代表 小嶋 光信

活動方針

両備グループ安全マネジメント委員会を中心に、バスのSSPブラッシュアップ運動の実施現場の安全委員の組織的活動により、教育、訓練、練習を徹底して事故撲滅を目指します。

安全方針

- 1) 基本を忠実に守り、日々の業務を行う。
- 2) 健康管理を重点的に行う。
- 3) 労働時間の管理徹底で過労による事故をなくす。
- 4) デジタコ、ドライブレコーダー等の機器で運行管理を行う。
- 5) テロを含む事件に対応できる、訓練、教育を行う

両備交通四悪

- 1) 飲酒運転・酒気帯び運転
- 2) 個人用携帯電話・スマホルール違反
- 3) 免許証不携帯
- 4) 居眠り運転

東備バスの「安全マネジメント」の取り組み

- 1) 輸送の安全に関する基本的な取り組み
- 2) 安全の目標設定と結果の公表
- 3) 適性検査や健康診断の結果に基づき教育をする。
- 4) グループの内部監査による指導を実施する。
- 5) 安全統括責任者を中心に組織的にPDCAを行い、事故防止に務める。

輸送の安全に関する目標の設定

- 1) 事故件数 0 件
- 2) 輸送の安全に関する予算額

安全設備、機器の関する予算
教育に関する予算

別紙①

別紙②

事故に関する統計・行政処分

平成 28 年度 事故 0
 行政処分はありません

輸送の安全に関する実施方針（具体的な計画）

- 1] 安全マネジメントによる輸送の確保のため、経営者、管理者、乗務員の共通の認識を持てるよう、月 1 回、コミュニケーションの時間を取る。
- 2] グループ各社の安全に関する研修、講習に積極的に参加する。別紙③
- 3] 国指導の安全項目と、時節による安全項目の指導を行う。
- 4] 特定日を定め、安全意識の再認識を徹底する。
- 5] 健康管理の重要性を認識し、社員の健康状態を把握し、改善指導する。

非常事態、危機管理、

- 1] 危機管理組織を作り、人命尊重の体制づくりを行なう。組織図 別紙④
- 2] 関係各庁の指導のもと、テロ、暴力、災害についての研修に参加し、訓練、報告を行なう。

監査

- 1] 両備グループ監査室監査
- 2] バスグループ監査
- 3] タクシーグループ監査
- 4] 人事監査
- 5] 財務監査

上記の監査を定期的に受け、安全マネジメントの全体チェックとして、来季の計画、実行に向けての指導とする。